

岩手県感染症週報

平成28年第15週(4月11日～4月17日)

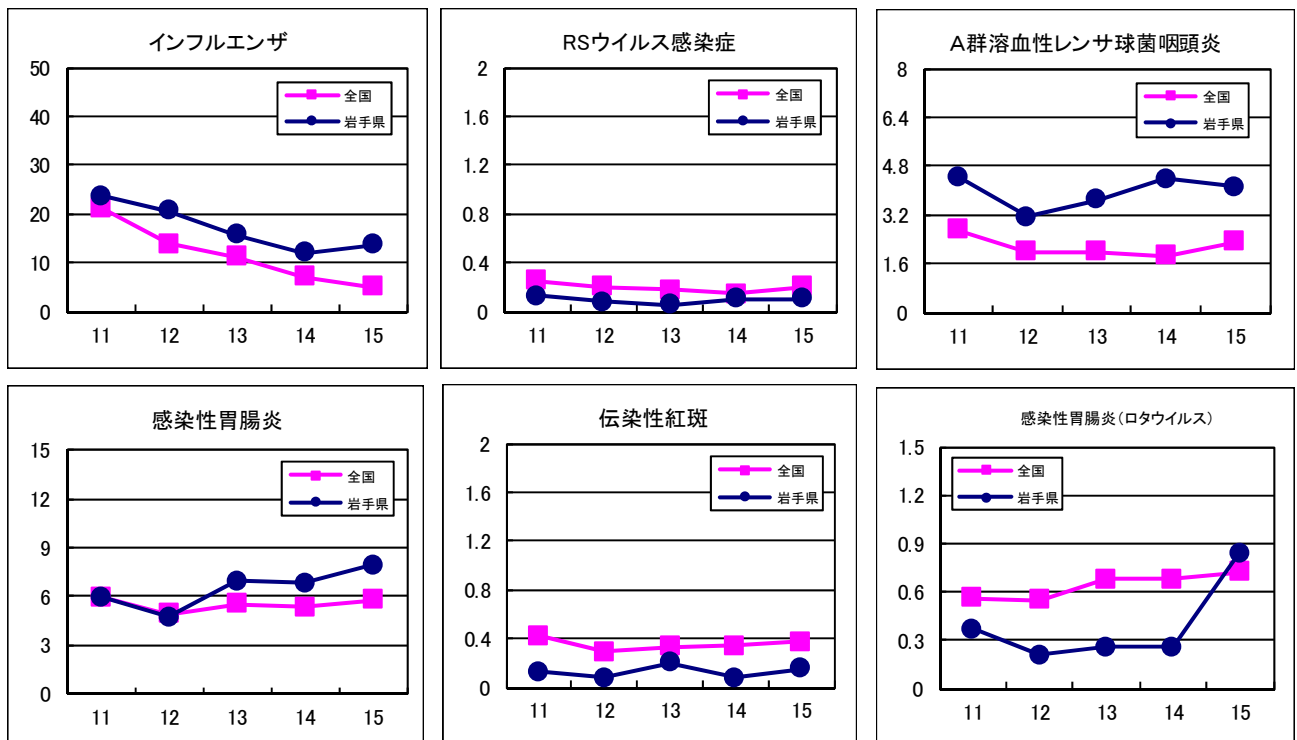
岩手県感染症情報センター

第15週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が3例ありました。このうち、2例は潜在性結核感染症の報告でした。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・急性脳炎の報告が、盛岡市から1例ありました。患者は30歳代の女性です。原因病原体は、B型インフルエンザウイルスです。
 - ・後天性免疫不全症候群の報告が、一関地区から1例ありました。患者は30歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・インフルエンザは、減少から増加に転じました。4月中旬から、学校等休業措置の報告が増加し、年齢層別でも14歳以下が前週より増加しました。医療機関での簡易キットの検査結果ではB型が流行しています。症状がある場合にはマスクなどの咳エチケット、こまめな手洗いなどによる感染予防対策が重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、増加し、県央、中部及び釜石地区で定点あたり患者数10人を超えました。ノロウイルス及びロタウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設等で発生しました。予防には、塩素系薬剤(ハイター等)による患者の吐物や便の処理及び石けんと流水による手洗いが重要です。
 - ・溶連菌咽頭炎は、この週も盛岡市及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えています。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

※2013年第42週より感染性胃腸炎（ロタウイルス）が定点把握対象疾病となりました。

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		11	12	13	14	15		
インフルエンザ	岩手県	23.72	20.69	15.63	12.06	13.67	↗	☆
	全国	21.13	13.81	11.2	7.02	5.06		
RSウイルス感染症	岩手県	0.13	0.08	0.05	0.1	0.1	→	☆
	全国	0.25	0.2	0.18	0.14	0.2		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.08	0.08	0.13	0.1	→	☆
	全国	0.29	0.21	0.22	0.23	0.27		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.45	3.13	3.68	4.38	4.1	→	☆☆
	全国	2.71	2	1.97	1.85	2.3		
感染性胃腸炎	岩手県	5.95	4.73	6.93	6.8	7.93	↗	☆
	全国	5.95	4.88	5.51	5.35	5.79		
水痘	岩手県	0.48	0.33	0.23	0.2	0.33	→	☆
	全国	0.33	0.32	0.37	0.34	0.3		
手足口病	岩手県	0	0.05	0.03	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.08	0.2	0.08	0.15	→	☆☆
	全国	0.42	0.29	0.33	0.34	0.37		
突発性発疹	岩手県	0.28	0.23	0.4	0.3	0.35	→	☆
	全国	0.36	0.34	0.4	0.45	0.48		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.04		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.38	0.23	0.45	0.3	0.33	→	☆
	全国	0.79	0.8	0.9	0.81	0.82		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.43	0.21	0.36	0.21	→	☆
	全国	0.46	0.47	0.51	0.57	0.55		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.03	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.42	0.26	0.58	0.26	0.26	→	☆
	全国	0.44	0.35	0.4	0.33	0.31		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0.37	0.21	0.26	0.26	0.84	↗	☆
	全国	0.56	0.55	0.68	0.68	0.72		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	36	50	26	19	17		
	全国	692	554	491	354	254		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 11	12	13	14	15	累計	15	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	3 (1)	9 (6)	7 (5)	4 (2)	3 (2)	65 (30)	411	6381
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	41
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	5	7	179
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	14
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
四類 感染症	E型肝炎	1	1	0	0	0	2	4	120
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	6	114
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	4
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	5
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	7	47
	デング熱	0	0	0	0	0	1	1	101
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	9
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	2	12	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	3	12	292	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	3	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		11	12	13	14	15		15	206
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	2	0	0	0	0	4	15	341
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	2	67
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	0	0	0	0	6	19	375
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	3	0	0	1	4	7	329
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	55
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	0	3	7	162
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	1	19	415
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	18
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	101
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	17
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	33	929
	水痘 (入院例)	0	0	0	1	0	1	3	73
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	46	1024
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	36
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	20
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	12
	風しん	0	0	0	0	0	0	3	31
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	5	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	1	12	

今注目の感染症

インフルエンザウイルスに関連した
急性脳炎

急性脳炎とは、ウイルスなど種々の病原体の感染が原因となる急性の脳炎です。多種多様な病原体が考えられますが、ウイルスとしてはインフルエンザ、単純ヘルペス、エンテロウイルス、アデノウイルス、麻しんウイルス、風しんウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、ヒトヘルペスウイルス6などが含まれます。マイコプラズマ、スピロヘータ、レプトスピラ、リケッチア、真菌、寄生虫も脳炎を合併することがあります。

症状は、病原体が多様であることから、症状も様々です。一般的には、最初は発熱、頭痛などの症状で始まることが多く、その後、神経障害に起因する症状が急激に、あるいは緩徐に出現します。

冬のインフルエンザシーズンに一致して脳炎が増加する傾向が認められています。全国では、2012/13シーズンは64例、2013/14シーズンは96例、2014/15シーズンは101例であり、今シーズンは第9週までに161例報告されています。岩手県でも、例年3例ほどですが、今シーズンは、第15週までに5例報告されています。

予防接種はインフルエンザの予防手段の一つと考えられます。また、早期診断、早期治療が需要です。

(表) 岩手県 シーズン別 インフルエンザに関連した急性脳炎の報告数

シーズン	インフルエンザに関連した急性脳炎 報告数
2009/10	3
2010/11	1
2011/12	1
2012/13	2
2013/14	3
2014/15	3
2015/16	5

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。

岩手県の発生状況は、例年11月下旬から12月上旬頃から発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加します。

今シーズンは、例年より流行の開始が遅く、定点あたり患者数1.00人を超えて、流行入りしたのは第1週でした。その後流行が拡大し、第3週には12.75人注意報値(定点あたり患者数10人)を超え、県から注意報が発令されました。第6週には32.88人と警報値(同30人)を超え、2月17日、警報が発令されました。患者数は第6週をピークに減少しましたが、第15週に増加に転じました。4月以降、学校等休業措置報告数が増加しています。今後の発生の動向に注意が必要です。

当センターで実施しているウイルス検査では、今シーズンは、A(H1N1)pdm09が43件、B型が18件、A香港型が3件の順に検出されています。なお、第15週に医療機関から報告のあった簡易検査キットによる診断では、B型が多くの患者から検出されています。

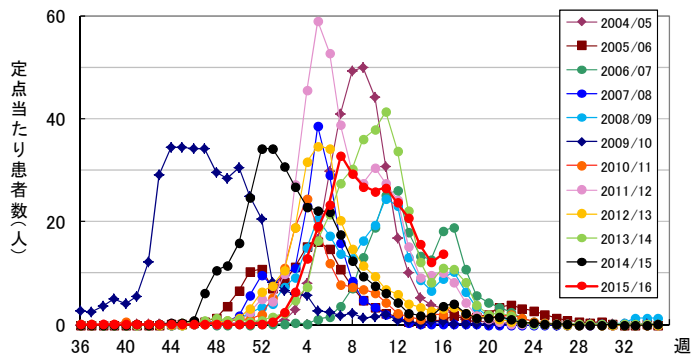
症状がある場合やかかったと感じた場合は早めの受診が勧められます。発症後5～7日間はウイルスを排出するといわれており、熱が下がっても、咳やくしゃみがある場合にはマスクをするなど、周囲への感染防止の配慮が必要です。

予防には、帰宅後の手洗い、咳エチケット(咳やくしゃみが出る時は、マスクをする・他の人に向けてしないなど)、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えることなどが重要です。

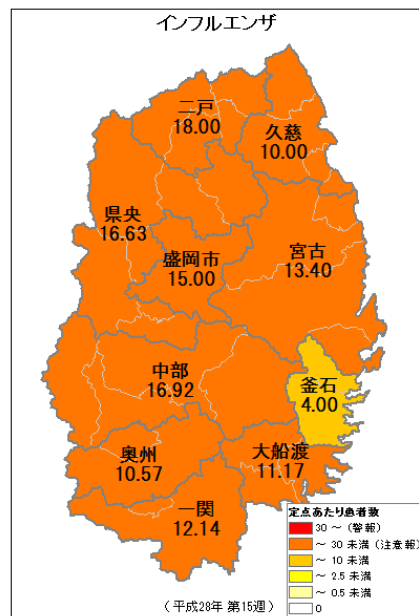
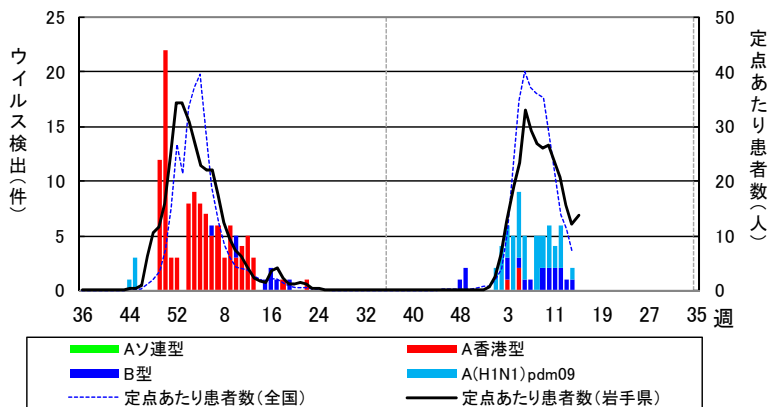
参考 厚生労働省 インフルエンザQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/ga.html>

インフルエンザ、岩手県



インフルエンザ患者数とウイルス検出数 (2014/2015～2015/2016シーズン)



第15週

今注目の感染症 (つづき)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭炎、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けること、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットが重要です。

岩手県での発生状況は、2014年の第41週から、他の年に比較して多い状況が続いています(図3)。2016年の第6週には、県全体の定点あたり患者数6.23人と、調査を開始した平成11年以降で最多の報告数となりました。第4週から第8週まで4週続けて減少しましたが、第13週に増加に転じました(図1)。第15週は盛岡市及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えています(図2)。今後とも注意が必要です。

参考 国立感染症研究所 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>

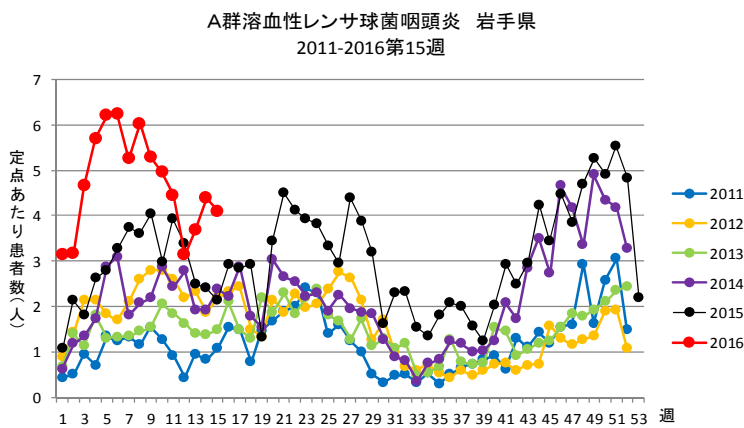


図1

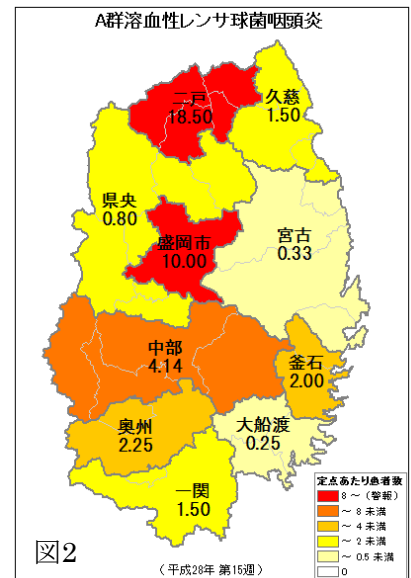


図2

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行の推移 (1999～2016)

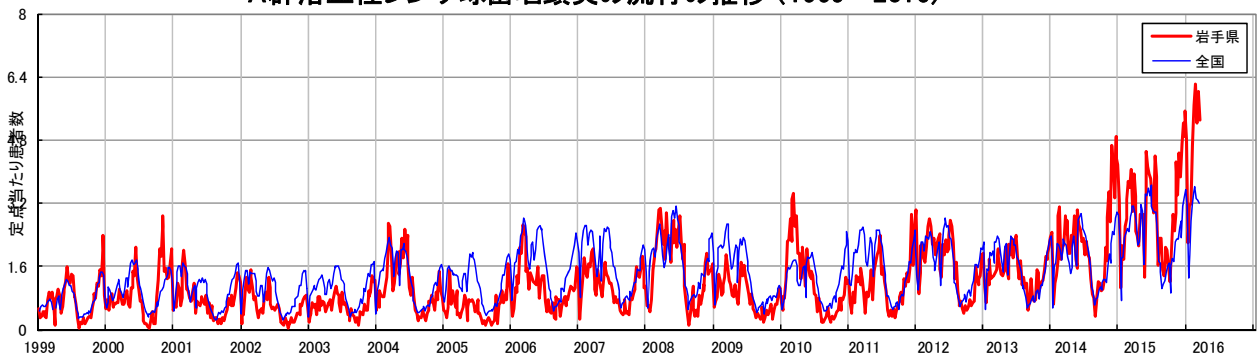


図3

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、インフルエンザウイルスA/H1N1（2009）亜型を5件、インフルエンザウイルスB型を2件、それぞれ検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

ー盛岡市内の児童福祉施設（入所者53名、職員42名）ー

- ・3月18日（金）から4月7日（木）にかけ15名（入所者8名、職員7名）に症状（下痢、嘔吐、発熱等）
- ・有症者5名（入所者4名、職員1名）からロタウイルスを確認

ー盛岡市内の保育園（園児69名、職員31名）ー

- ・3月31日（木）から4月14日（木）にかけ、18名（園児16名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、腹痛、発熱等）
- ・有症者3名（園児3名）から、ノロウイルスを確認

ー葛巻町内の老人福祉施設（利用者56名、職員48名）ー

- ・4月9日（土）から4月16日（土）にかけ、26名（利用者18名、職員8名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者5名からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について4月14日～4月20日）

- ・岩手県 27件
- ・盛岡市 8件

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/Influ/index.html>

医療機関からの情報

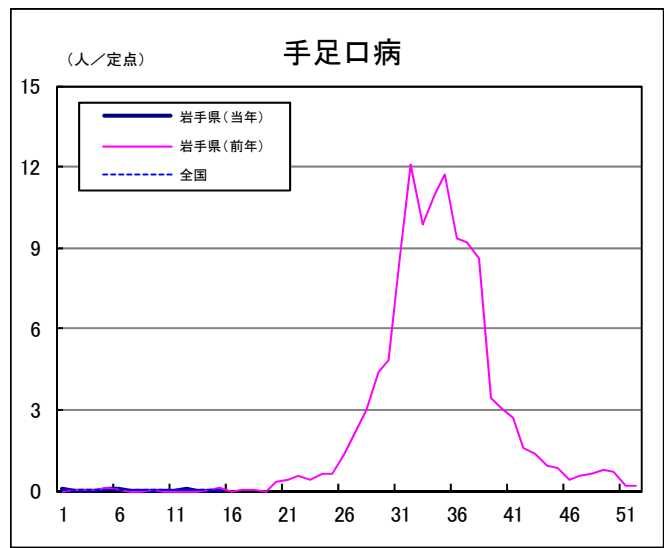
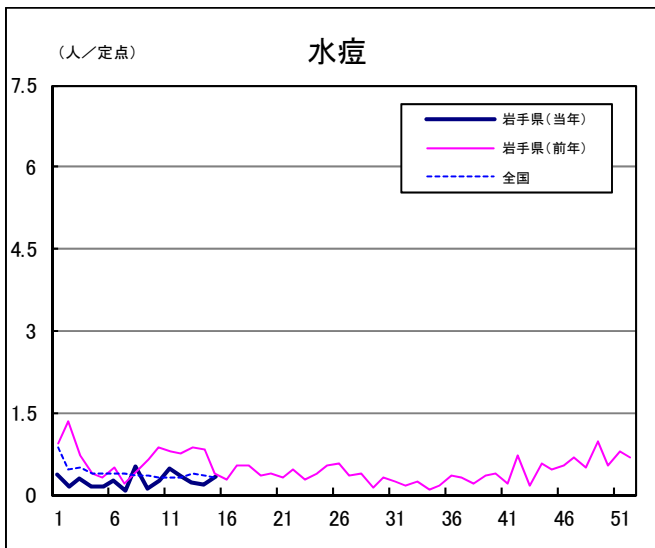
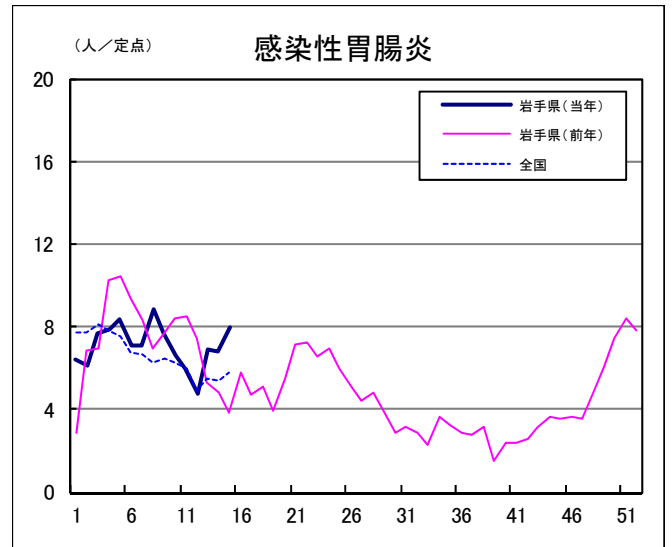
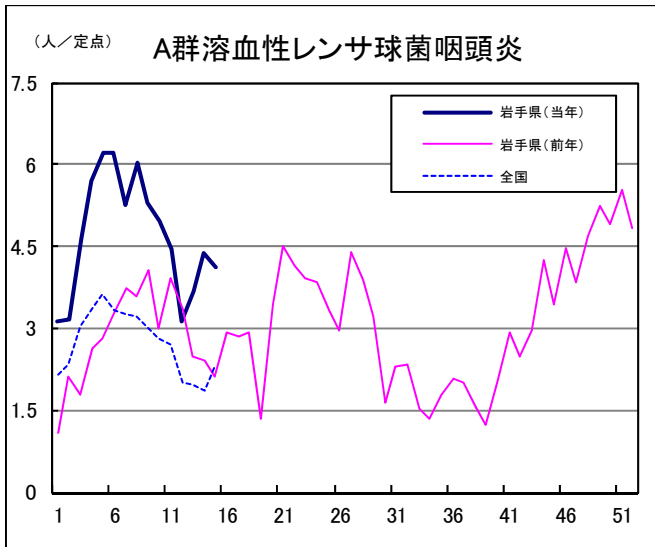
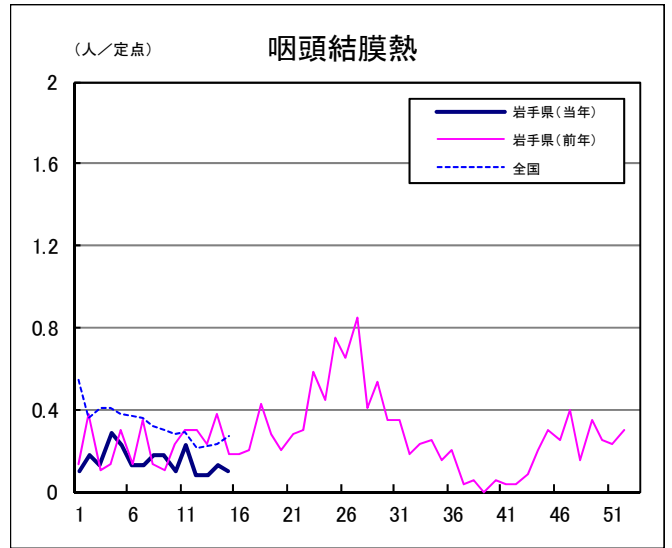
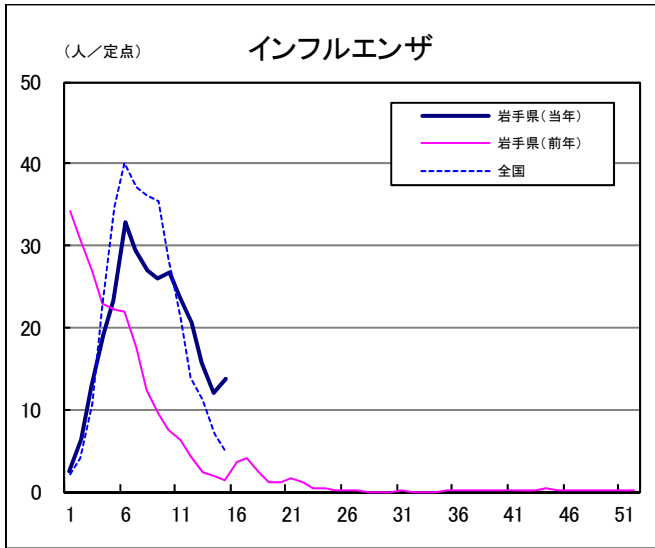
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

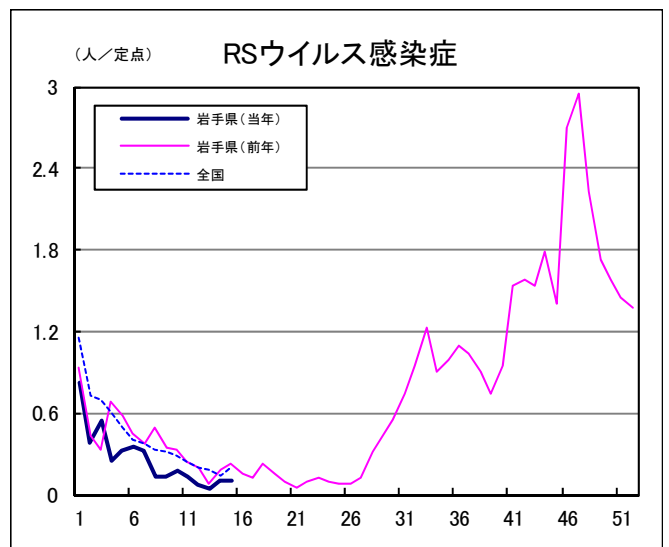
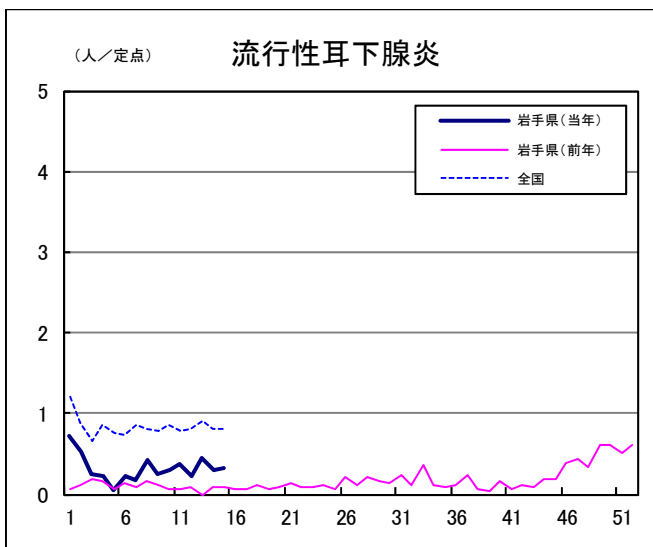
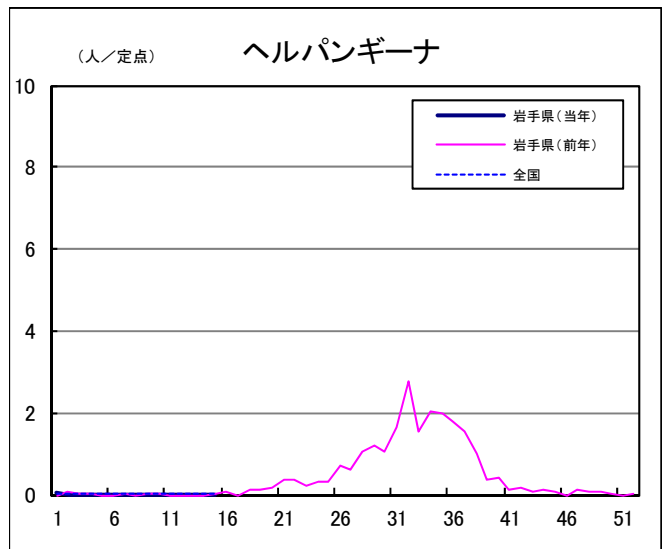
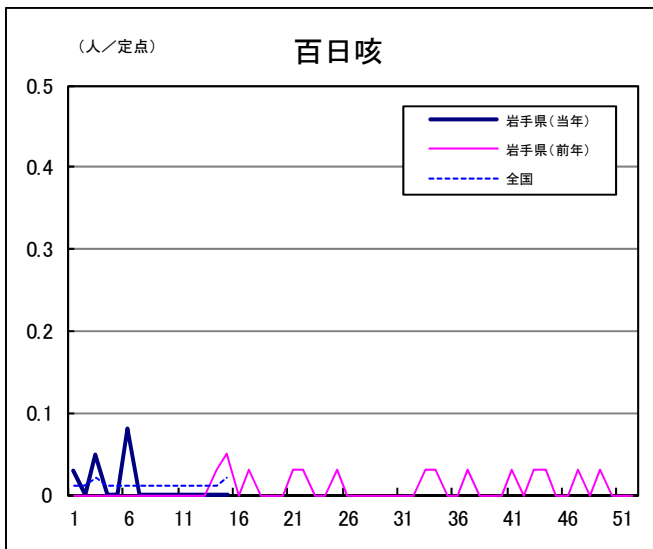
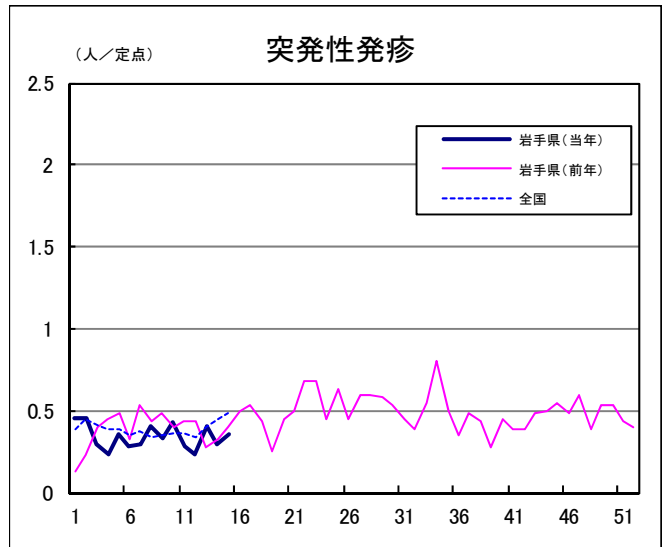
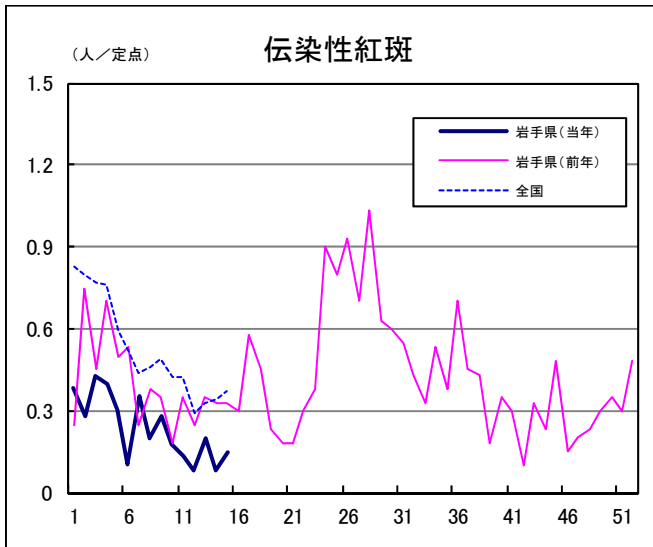
Q & A

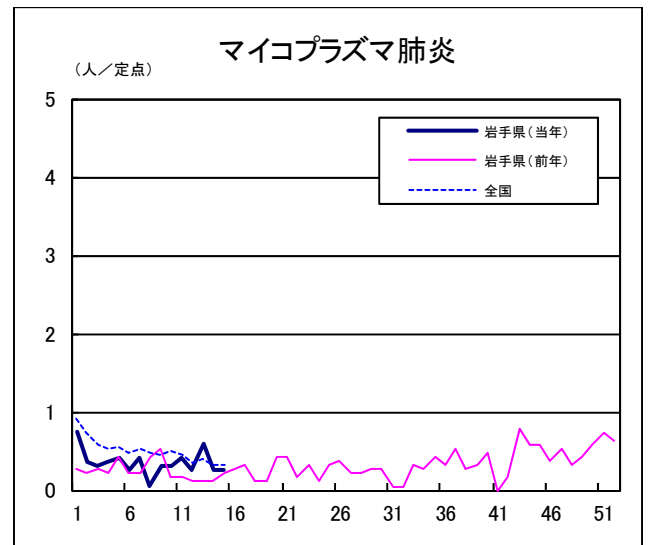
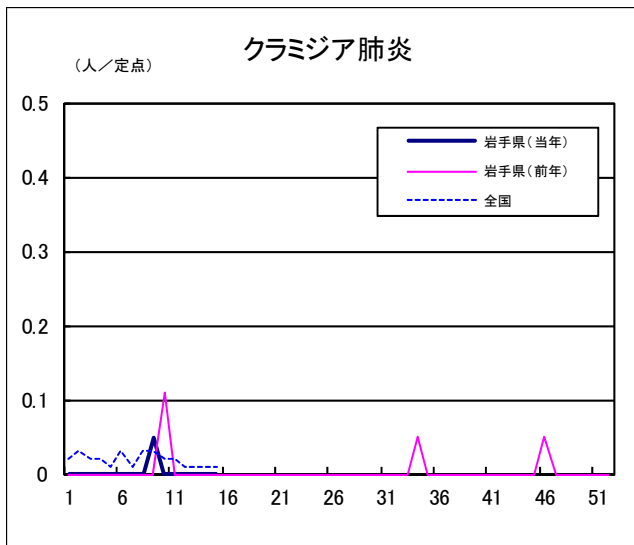
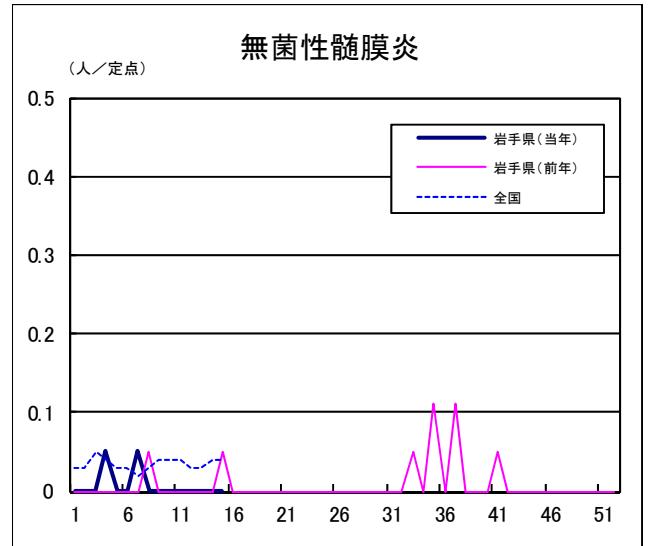
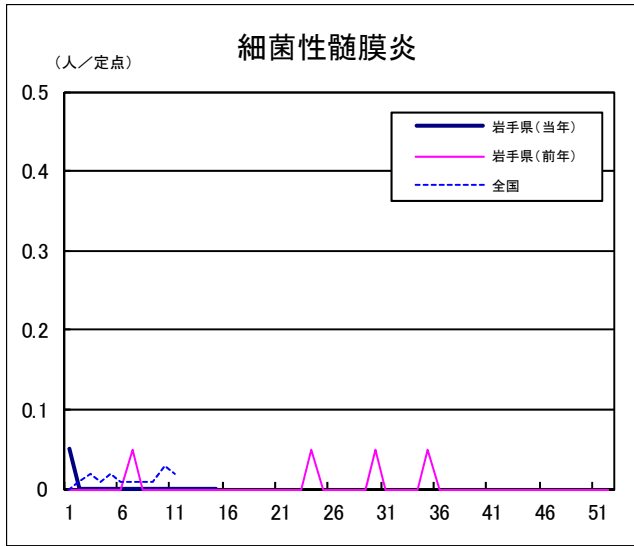
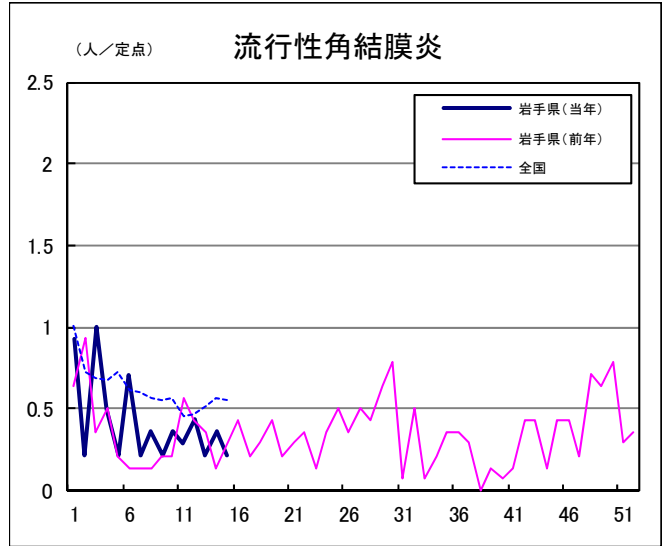
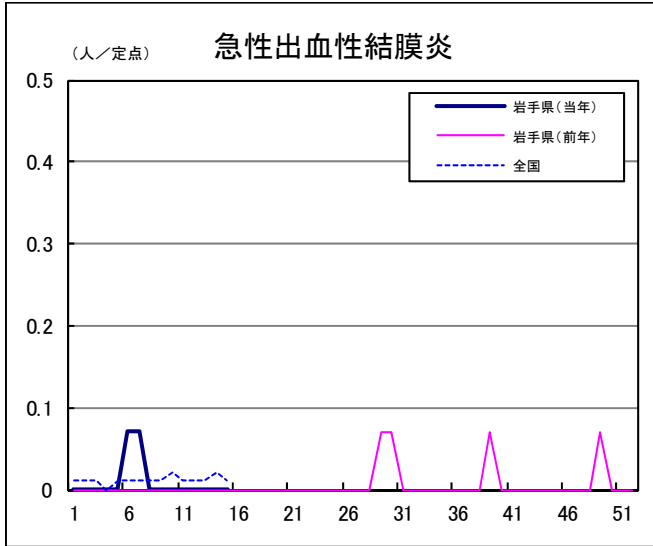
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)

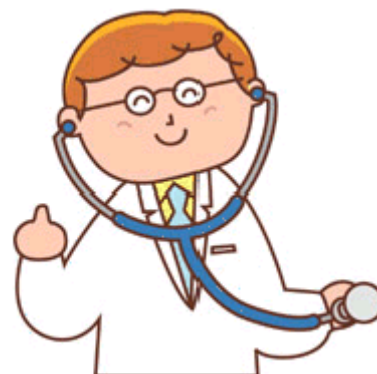






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成28年第15週 平成28年4月22日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>